

令和8年度 第3回

8月 倫理・利益相反委員会 会議記録概要

日 時：令和8年8月24日（月） 15:00～16:00
場 所：第1診療棟6F 特別会議室
出席者： 委員長 新飯田俊平
副委員長 伊藤健吾
委 員 加知輝彦、八谷寛、服部一郎、福田昌子、村上健次、
松浦俊博、室原豊明、村上和代、橋本敬史

出席委員数/全委員数： 11人/12人
審議事項
申請課題数：新規申請課題 2件

その他審議事項は特になし

申請課題について

No. 1	受付番号：2078 課 題 名：健常高齢者を対象とした無動力歩行アシスト装具の機能性評価 申 請 者：塚原 淳 審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。 倫理審査結果：条件付き承認（修正内容の確認をもって承認とする。） 〈条件〉 1. 介入研究に該当するので主要評価項目は原則一つとし、あとは副次評価項目とすること。 利益相反審査結果：非該当で承認
-------	--

No. 2	受付番号：2080 課 題 名：高齢者の日常的な走行特性と実車技能評価の関連：運転レポートシステムの精度計測に向けた比較研究 申 請 者：島田 裕之 審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。 倫理審査結果：条件付き承認（修正内容の確認をもって承認とする。） 〈条件〉 1. 運転者（研究参加者）が事故を起こした場合の責任の所在を明確にすること（運転者にあるのか研究実施者にあるのかなど説明が必要）。 2. 研究の実施内容が研究参加者に過不足なく伝わるように計画書を修正すること。 3. 介入研究に該当するので主要評価項目は原則一つ、あとは副次評価項目とすること。また、それらの具体的な解析方法を研究計画書に追記すること。 利益相反審査結果：該当で条件付き承認 〈条件〉 1. 報告書の⑤研究費の補助等受けた実績に、申請書8. 研究費の内訳、出所及び金額に記載されている共同研究の相手方企業から配分された金額の記載がないため、追記すること。
-------	--